

電気事業

1 業務量

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
発電所数	25所	23所	2所	108.7%
最大出力合計	105,051kW	104,655kW	396kW	100.4%
年間販売電力量	267,294千kWh	232,243千kWh	35,051千kWh	115.1%
料金収入(税込み)	3,817,446千円	3,402,606千円	414,840千円	112.2%
(うちFIT)	(1,116,771千円)	(821,311千円)	(295,460千円)	(136.0%)

2 収益的収支

(税込み、損益は税抜き)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	5,866,107千円	5,495,761千円	370,346千円	106.7%
支出	4,918,965千円	4,493,995千円	424,970千円	109.5%
差額	947,142千円	1,001,766千円	-	-
(損益)	(△ 523,443千円)	(△ 614,577千円)	(91,134千円)	(-)

(※)損失については、留保している利益積立金で補てんするため、繰越欠損金は発生しない予定です。

(増減の主なもの)

[収入] 新規発電所の運転開始に伴う料金収入の増 414,840千円

[支出] 発電所数の増加に伴う委託料(運転管理業務委託)の増 296,175千円

3 資本的収支

(税込み)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	13,768,000千円	15,521,416千円	△ 1,753,416千円	88.7%
企業債	13,768,000千円	15,520,000千円	△ 1,752,000千円	88.7%
支出	18,008,837千円	19,090,344千円	△ 1,081,507千円	94.3%
建設改良費	16,921,943千円	18,342,324千円	△ 1,420,381千円	92.3%
企業債償還金	1,036,894千円	655,590千円	381,304千円	158.2%
一般会計への繰出金	50,000千円	40,000千円	10,000千円	125.0%
差額	△ 4,240,837千円	△ 3,568,928千円	-	-
補てん財源				
損益勘定留保資金等	2,720,252千円	1,912,585千円	807,667千円	142.2%
積立金	50,000千円	40,000千円	10,000千円	125.0%
資本的収支調整額	1,470,585千円	1,616,343千円	△ 145,758千円	91.0%

(増減の主なもの)

[支出] 小浜第3発電所、与田切発電所の大規模改修の完了に伴う建設改良費の減 △1,420,381千円

水道事業(末端給水事業)

1 業務量

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
給水戸数	80,948戸	80,437戸	511戸	100.6%
年間総給水量	18,995千m ³	19,158千m ³	△ 163千m ³	99.1%
料金収入(税込み)	3,624,081千円	3,656,351千円	△ 32,270千円	99.1%

2 収益的収支

(税込み、損益は税抜き)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	4,155,050千円	4,234,259千円	△ 79,209千円	98.1%
支出	3,961,830千円	4,044,495千円	△ 82,665千円	98.0%
差額	254,772千円	282,165千円	-	-
(損益)	(12,400千円)	(24,693千円)	(△ 12,293千円)	(50.2%)

(増減の主なもの)

[収入] 戸当たり水量の減少に伴う水道料金収入の減 △32,270千円

[支出] 燃料調整費の下落による動力費の減 △70,103千円

3 資本的収支

(税込み)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	1,516,168千円	1,708,796千円	△ 192,628千円	88.7%
企業債	(1,327,000千円)	(1,520,000千円)	(△ 193,000千円)	(87.3%)
支出	3,833,485千円	3,738,054千円	95,431千円	102.6%
建設改良費	(2,335,889千円)	(2,165,229千円)	(170,660千円)	(107.9%)
企業債償還金	(1,497,596千円)	(1,547,325千円)	(△ 49,729千円)	(96.8%)
差額	△ 2,317,317千円	△ 2,029,258千円	-	-
補てん財源				
損益勘定留保資金等	2,141,043千円	1,868,733千円	272,310千円	114.6%
資本的収支調整額	176,274千円	160,525千円	15,749千円	109.8%

(増減の主なもの)

[支出] 施設・管路の老朽化対策に係る建設改良費の増 170,660千円

水道事業(用水供給事業)

1 業務量

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
年間総給水量	29,565千m ³	29,646千m ³	△ 81千m ³	99.7%
料金収入(税込み)	1,443,954千円	1,447,910千円	△ 3,956千円	99.7%

2 収益的収支

(税込み、損益は税抜き)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	1,512,511千円	1,517,967千円	△ 5,456千円	99.6%
支出	1,450,959千円	1,425,566千円	25,393千円	101.8%
差額	61,552千円	92,401千円	-	-
(損益)	(11,206千円)	(32,662千円)	(△ 21,456千円)	(34.3%)

(増減の主なもの)

[支出] 機械装置に係る修繕費の増 43,195千円

3 資本的収支

(税込み)

区分	令和6年度(A)	令和5年度(B)	(A)-(B)	(A)/(B)
収入	315,000千円	422,000千円	△ 107,000千円	74.6%
企業債	(315,000千円)	(422,000千円)	(△ 107,000千円)	(74.6%)
支出	744,553千円	838,953千円	△ 94,400千円	88.7%
建設改良費	(555,794千円)	(659,114千円)	(△ 103,320千円)	(84.3%)
企業債償還金	(188,759千円)	(154,339千円)	(34,420千円)	(122.3%)
差額	△ 429,553千円	△ 416,953千円	-	-
補てん財源				
損益勘定留保資金等	380,674千円	349,518千円	31,156千円	108.9%
資本的収支調整額	48,879千円	67,435千円	△ 18,556千円	72.5%

(増減の主なもの)

[支出] 耐震管布設工事の完了(東山支線)等に伴う建設改良費の減 △103,320千円

令和6年度企業局事業体系

基本目標

『水の恵みを未来へつなぐ』

基本方針
「経営の安定と未来への投資」

電気事業
<p>脱炭素社会に向け、長野県の豊かな水資源を活かす水力発電により、「再生可能エネルギーの供給拡大」と「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化を図るとともに、電力の安定供給のため、未来に向けて積極的に投資</p>
<p>【しあわせ信州創造プラン3.0】</p> <p>持続可能で安定した暮らしを守る</p> <p>創造的で強靱な産業の発展を支援する</p> <p>快適でゆとりのある社会生活を創造する</p>

水道事業 (末端給水・用水供給)
<p>将来にわたり安全・安心な水道水を安定して供給する持続可能な経営体制の確立に向けた、未来への計画的な投資、人材の確保・育成と広域連携の強化</p>
<p>【しあわせ信州創造プラン3.0】</p> <p>持続可能で安定した暮らしを守る</p> <p>快適でゆとりのある社会生活を創造する</p>

主な取組

未来への投資
<ul style="list-style-type: none"> 水力発電所の建設等の推進 <ul style="list-style-type: none"> 新規電源開発(発電所建設)の推進 基幹発電所の大規模改修等の推進
先端技術の大胆な活用
<ul style="list-style-type: none"> 次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進 (AIを活用した発電所の運転管理の最適化) 水素ステーションの実証
リスクマネジメント
<ul style="list-style-type: none"> 発電所設備の耐震補強工事の実施
地域への貢献、地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> 市町村等の水力発電所開発支援 地域連携水力発電マイクログリッド構築事業 水の恵みを未来へつなぐ交付金事業 電気事業利益を活用した地域貢献(一般会計への繰出し)
未来への投資
<ul style="list-style-type: none"> 施設等の老朽化対策及び耐震化の推進 豪雨等による高濁度対策の推進
先端技術の大胆な活用
<ul style="list-style-type: none"> (新) AI技術を活用した管路の更新投資の適正化
リスクマネジメント
<ul style="list-style-type: none"> 施設等の老朽化対策及び耐震化の推進(再掲) 豪雨等による高濁度対策の推進(再掲) 応急給水拠点としての「安心の蛇口」の整備
地域への貢献、地域との連携
<ul style="list-style-type: none"> (拡) 施設維持管理技術向上のための簡易研修設備の設置 関係市町村との広域化・広域連携の推進
柔軟で俊敏な組織づくり
<ul style="list-style-type: none"> しごと改革・働き方改革の推進 持続可能な経営のための戦略的な広報の実施

経営の安定

未来への投資

水力発電所の建設等の推進

予算額 14,435百万円(R5:16,826百万円)

種別	発電所名 地点名	所在地	最大出力 (想定)	年間発電 電力量(想定)	運転 開始 (予定) 年度	総事 業費 (億円)	予算額(千円)	
							R6予算額	債務設定額
新規発電所建設	越百のしずく	飯島町	1,500kW	5,500千kWh (約1,500世帯)	R7	33.2	4,533,071	10,430,776
	湯の瀬いとおしき	長野市	860kW	3,000千kWh (約830世帯)	R7	26.7		
	大泉川砂防ダム地点	南箕輪村	199kW	950千kWh (約260世帯)	R8	6.6		
	中田切川地点	駒ヶ根市	1,999kW	10,489千kWh (約2,900世帯)	R9	62.8		
大規模改修等	美和	伊那市	13,000kW	47,500千kWh (約13,200世帯)	R7	82.9	9,871,422	11,703,771
	春近	伊那市	25,300kW	108,000千kWh (約30,000世帯)	R7	160.2		
	豊丘ダム	須坂市	182kW	1,122千kWh (約310世帯)	R7	3.7		
	奈良井ダム	塩尻市	900kW	5,980千kWh (約1,660世帯)	R9	12.6		
合計						388.7	14,404,493	22,134,547
新規地点調査	流量調査業務	6地点	新たな開発可能地点の発掘				19,800	30,800
	事業性評価業務	5地点	調査中地点の事業化検討				11,000	
	合計							
総合計						388.7	14,435,293	22,134,547

先端技術の大胆な活用

次世代監視制御ネットワークを活用した

スマート化の推進

予算額 189百万円(R5:439百万円)

項目	予算額	内容
次世代監視制御ネットワークを活用したスマート化の推進	188,650千円	・水力発電所維持管理の高度化、効率化の推進 ・流入量予測システムの高度化の推進

水素ステーション実証事業

予算額 37百万円(R5:37百万円)

項目	予算額	内容
水素ステーションの実証	36,889千円	FCV導入による環境負荷軽減等を検証するとともに、水素の利活用に関する県民の理解促進、FCVの普及啓発を展開

リスクマネジメント

発電所設備の耐震補強工事の実施

予算額 54百万円(R5:17百万円)

項目	予算額	内容
菅平発電所 水圧管路耐震補強工事	53,500千円	損壊による二次被害の懸念がある水圧鉄管の耐震化

柔軟で俊敏な組織づくり

電気・水道事業共通事業

しごと改革・働き方改革の推進 ・公用スマートフォンの職員への配備、職員の健康管理・自己啓発に対する支援等	17,845千円
持続可能な経営のための戦略的な広報の実施 ・企業局PRキャラクターを活用した動画の制作等	11,050千円

人材の育成

- 国等との交流推進
 - ・技術職員を国へ研修派遣(経済産業省)
- 技術研修・継承
 - ・業務に必要な資格(電気主任技術者等)取得研修会の受講促進
 - ・民間研修施設等を活用した実践的研修プログラムの構築
 - ・若年層の職員による業務の改善などをテーマにした課題解決研修の実施

地域への貢献 地域との連携

市町村等の水力発電所開発支援

予算額 366百万円(R5:291百万円)

発電施設の調査・設計段階から建設の施工管理、保守管理まで、企業局が持つノウハウを生かし、市町村等の小水力発電開発を支援する

項目	予算額	内容
菅平ダム小水力発電施設整備工事	359,970千円	神川沿岸土地改良区と県農政部が進める小水力発電施設整備を企業局が受託実施
木祖村地点小水力発電事業性評価	5,500千円	木祖村からの開発要望に対し、地点選定から調査、事業性評価を支援
高森町地点小水力発電事業性評価	550千円	高森町からの開発要望に対し、地点選定から調査、事業性評価を支援

資料 7-1-1

地域連携水力発電マイクログリッド構築に向けた検討

予算額 10百万円(R5:33百万円)

災害に強い地域づくりを推進するため、大規模災害時等における地域防災拠点等への電力供給の可能性等を検討する

項目	予算額	内容
マイクログリッド構築事業	9,900千円	・マイクログリッド導入に向けた実施スキームの検討 ・実施に向けた発電所の改修

資料 7-1-2

水の恵みを未来へつなぐ交付金

予算額 50百万円(R5:50百万円)

企業局の発電所が立地する中山間地域の課題解決のため、市町村が先端技術等を活用し行政サービスの高度化を図る取組を支援するとともに、企業局と市町村が連携した事業の創出を研究

交付対象	企業局水力発電所(建設中のものを含む)の所在市町村
交付額	1市町村につき原則3年以内で総額1千万円以内(定額)

一般会計への繰出しによる地域貢献

予算額 50百万円(R5:40百万円)

項目	予算額	内容
こどもの未来支援積立金からの繰出し	50,000千円	県立図書館と市町村立図書館が協働して構築した「電子図書館」の充実や保育施設の園庭の芝生化等を支援

目的

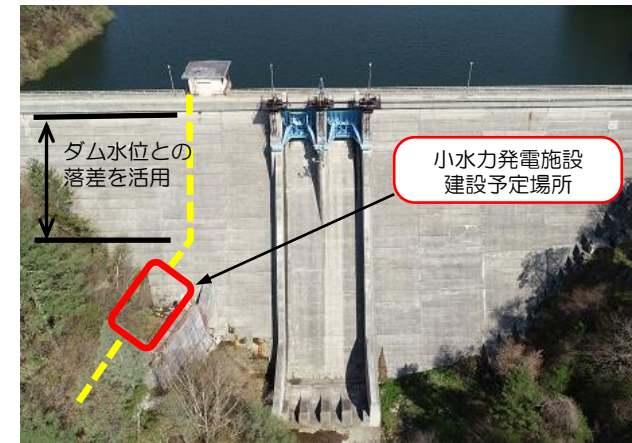
地域において新規電源開発等を計画する市町村・土地改良区等からの委託等により、発電施設の設計段階から建設の施工監理、保守管理まで、ニーズに合わせて技術等の支援を実施

○土地改良区への支援（菅平小水力発電施設整備工事）

概要

農政部からの協議・要請に応じ、企業局として初めて発電施設の建設を受託
完成後は、運転管理に関する業務を土地改良区からの要請により受託する予定

発電所想定諸元		区分	R3年度	R4年度	R5年度	R6年度	R7年度
最大出力	199kW	契約	★				
最大使用水量	1.6m ³ /s	設計		[進捗バー]			
年間発電電力量	532MWh	工事				[進捗バー]	しゅん工★

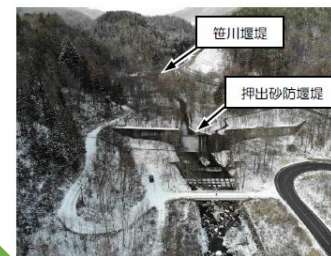


○市町村への支援（木祖村・高森町）

概要

企業局の新規電源開発のノウハウを活用し、現地調査、流量観測・測量、生態系調査、関係機関との協議同席、事業規模検討等を受託し、市町村による小水力発電の事業化を支援

町村候補地点	R4年度	R5年度	R6年度
木祖村 候補地点：笹川	★ 協定	★ 報告 調査業務	★ 事業規模検討
高森町 候補地点：大島川		★ 協定 調査業務	★ 報告



予算額：366,020千円（R5予算：290,910千円）
 <内訳> 菅平小水力発電施設整備工事 359,970千円
 木祖村・高森町候補地点調査 6,050千円

目的・概要

長野県公営企業経営戦略の基本方針に掲げる「エネルギー自立分散型で災害に強い地域づくり」の具現化のため、中山間地域に立地する水力発電所の特性を活かし、自立運転機能を活用した防災対策を検討
(大規模停電等に企業局発電所から地域防災拠点等への電力供給が可能となる「地域連携水力発電マイクログリッド」の検討)

これまでの取組

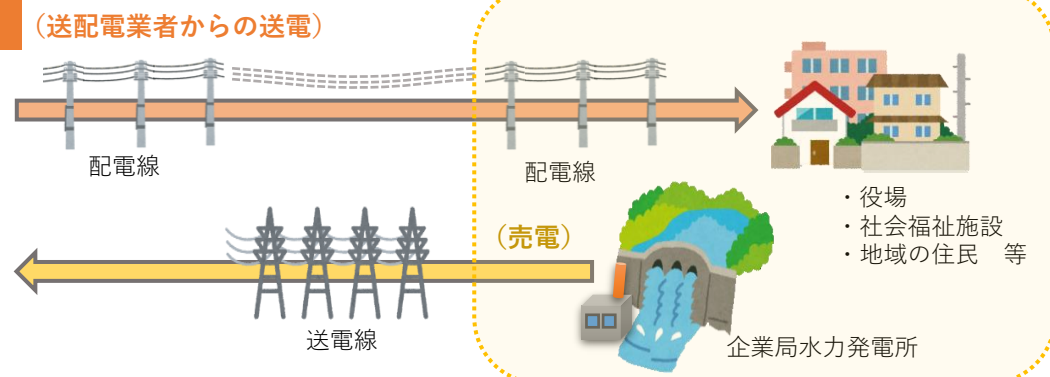
- (1) 水力発電所自立運転機能追加
 - ・新しい水力発電所は停電時の自立運転機能を付加して建設
横川蛇石（辰野町）、信州もみじ湖（箕輪町）、小渋えんまん（松川町）など
 - ・既存発電所は改修して自立運転機能を追加
西天竜（伊那市）、大鹿（大鹿村）など
- (2) 地域防災拠点等への電力供給
 - ・事業スキームや発動に関する課題を検討
 - ・送配電事業者、市町村と情報交換

これからの取組（令和6年度事業）

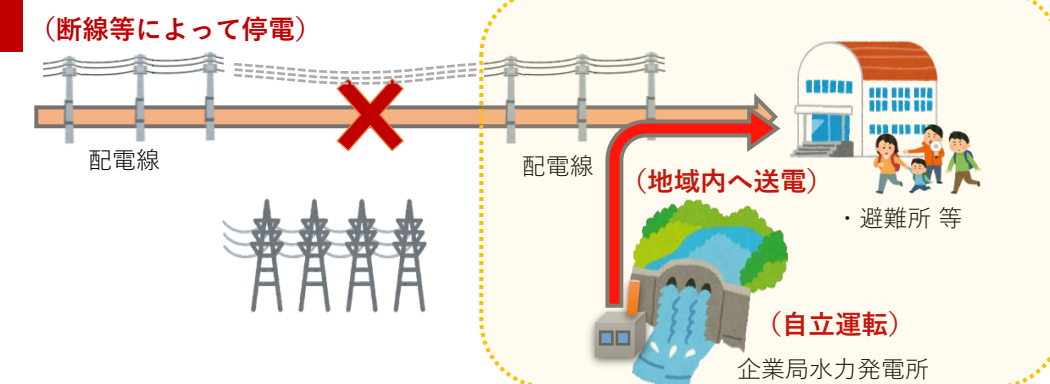
自立運転機能を持つ発電所を活用し、対象地域を設定して、送配電事業者及び関係自治体とともに、停電時を想定した電力供給に関する実証を検討（大鹿村などを想定）

地域連携水力発電マイクログリッド（イメージ図）

平常時



被災時



企業局水力発電所が配電線の被災箇所より集落側にある場合、自立運転機能により避難所等に送電が可能

予算額：9,900千円
(R5予算：33,000千円)

未来への投資

老朽化対策の推進 予算額 1,253百万円(R5:976百万円)

主な内容		予算額
末端給水	施設 上田：奈良尾送水ポンプ更新工事 ほか7か所 川中島：柳沢配水池ほか計装設備更新工事 ほか4か所	723,541千円
	【他工事関連による布設替】 上田：戸倉地区若宮工区送配水管布設替工事 ほか2か所 川中島：布施高田1工区配水管布設替工事 ほか4か所	260,000千円
	【有収率向上対策】 塩化ビニル管の布設替 上田：0.2km(3か所) 川中島：1.1km(5か所) その他舗装復旧工事等	204,000千円
小計 (債務設定額 784,000千円)		1,187,541千円
用水供給	施設 本山浄水場フロキュレータ取替工事 ほか6か所	65,670千円
	小計 (債務設定額 70,000千円)	65,670千円
合計 (債務設定額 854,000千円)		1,253,211千円

耐震化の推進 予算額 1,055百万円(R5:1,241百万円)

主な内容		予算額
末端給水	管路 上田水道管理事務所管内：7か所(1.3km) 川中島水道管理事務所管内：7か所(2.0km) [R6：耐震適合率98.9%] ※予定箇所には、重要給水施設へ至るルート (上田：1ルート、川中島：1ルート)を含む。	687,000千円
	小計 (債務設定額 320,000千円)	687,000千円
用水供給	施設 本山浄水場排水処理施設耐震化工事 [R6：耐震化進捗率90.0%]	220,000千円
	管路 送水施設支線管路耐震管布設工事(床尾支線) (0.07km) ほか2か所 [R6：耐震適合率98.0%]	148,000千円
小計 (債務設定額 350,000千円)		368,000千円
合計 (債務設定額 670,000千円)		1,055,000千円

※ 重要給水施設：病院や避難所となる学校等の施設(43か所)
※ 末端給水の基幹施設等の耐震化は完了済

豪雨対策等の推進 予算額 6百万円(R5:30百万円)

主な内容		予算額
用水供給	片平取水場の機能強化(豪雨・水質汚濁等対策)の推進	5,500千円
小計		5,500千円
合計		5,500千円

先端技術の大胆な活用

業務への新たな技術の活用 予算額 7百万円(R5:289百万円)

主な内容		予算額
末端給水	新 AI技術を活用した管路の更新投資の適正化 ・管路の布設年、管種等の管情報と地形条件等の環境ビッグデータに基づく管路劣化診断の実施により、更新投資を適正化 資料 7-2-1	6,600千円
合計		6,600千円

リスクマネジメント

安全・安心の確保に向けた取組 予算額 2,328百万円(R5:2,262百万円)

主な内容		予算額
末端給水	老朽化対策の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 1,187,541千円
	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 687,000千円
	「安心の蛇口」の整備 ・災害時でも水が出る応急給水拠点を地域の避難所となる施設へ設置 2か所(千曲市五加小学校及び長野市八幡原史跡公園) [R6：19か所]	12,000千円
小計 (債務設定額 1,134,000千円(再掲))		1,886,541千円
用水供給	老朽化対策の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 65,670千円
	耐震化の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 368,000千円
	豪雨対策等の推進(「未来への投資」に記載)	再掲 5,500千円
小計 (債務設定額 420,000千円(再掲))		439,170千円
共通	防災訓練等の実施 ・「災害時連携協定」に基づく関係市町村等との合同訓練 ・「安心の蛇口」及び「組立式応急給水栓」の活用講習 ・ペットボトル水「川中島の水」・「千曲川の水」の災害用備蓄等	1,789千円
	小計	1,789千円
合計 (債務設定額 1,554,000千円(再掲))		2,327,500千円

地域への貢献、地域との連携

広域化・広域連携の推進 予算額 17百万円(R5:81百万円)

主な内容		予算額
末端給水	上田長野地域(末端給水区域等)における広域化等に向けた検討 ・関係団体による専門組織の設立等の協議及び準備 (債務設定額 30,000千円)	11,000千円
用水供給	松本地域(用水供給区域等)における広域化・広域連携の検討 ・R3~R5の調査結果を基に広域化・広域連携の研究 (債務設定額 30,000千円)	5,500千円
合計 (債務設定額 60,000千円)		16,500千円

市町村等水道事業者への支援 予算額 10百万円(R5:5百万円)

主な内容		予算額
施設	施設維持管理技術向上のための簡易研修設備の設置 ・県内市町村との共同利用により、水道に係る職員の技術力向上と連携機運の醸成 資料 7-2-2	10,000千円
「長野県水道・下水道事業水道事業実務研修会」の開催 ・市町村等の水道担当職員の技術力向上を図る実務研修会を開催		-
「水道事業者なんでも相談窓口」の設置 ・下水道公社と協働し、市町村等の水道担当職員からの電話等による質問・相談に回答・助言		
横浜ウォーター(株)と連携した支援 ・専門的知識、技術、ノウハウを活かした県内市町村等水道事業者支援		-
有収率向上のための機器の無償貸与・技術支援 ・高感度音圧センサー搭載漏水調査機器の貸出しと技術研修を実施		-
災害応援 ・被災事業者に応急給水や技術者派遣等の応援を実施		-

経営の安定

顧客満足度の向上 予算額 23百万円(R5:25百万円)

主な内容		予算額
末端給水	修繕等への迅速な対応 ・「県営水道修繕センター」を委託設置し、24時間体制で相談を受付	21,483千円
共通	きめ細かな水質管理 ・法定の検査項目に加え、企業局独自の検査項目を上乗せして設定した水質検査計画に基づき、質の高い水質検査を実施	-
	県営水道への理解と関心の向上を図る取組 ・広報紙「けんえいすいどう」、「お客様の声」ハガキ、企業局ホームページ、施設見学会等	1,809千円
合計		23,292千円

柔軟で俊敏な組織づくり(電気・水道事業共通)

主な内容		予算額
しごと改革・働き方改革の推進 ・公用スマートフォンの職員への配備、職員の健康管理・自己啓発に対する支援等		17,845千円
持続可能な経営のための戦略的な広報の実施 ・企業局PRキャラクターを活用した動画の制作等		11,050千円

人工衛星を活用した漏水調査（R4実施）

○概要

- 目的：現在発生している漏水の発見
- 概要：人工衛星から地表に向けて電磁波を照射し、反射波を解析することで、漏水可能性エリアを抽出
- 効果：短時間で効率的に漏水可能性エリアのスクリーニング（1次調査）可能

○結果

- 漏水可能箇所の特定（効率的なスクリーニング）により、短期間で広範囲の調査が可能となり、漏水箇所発見効率が上昇（従来管内調査に6年必要→2次調査を含め約1年で実施（78箇所、100件発見））
- 実務研修会で県内市町村へ展開（実施予定団体あり）

○今後の対応

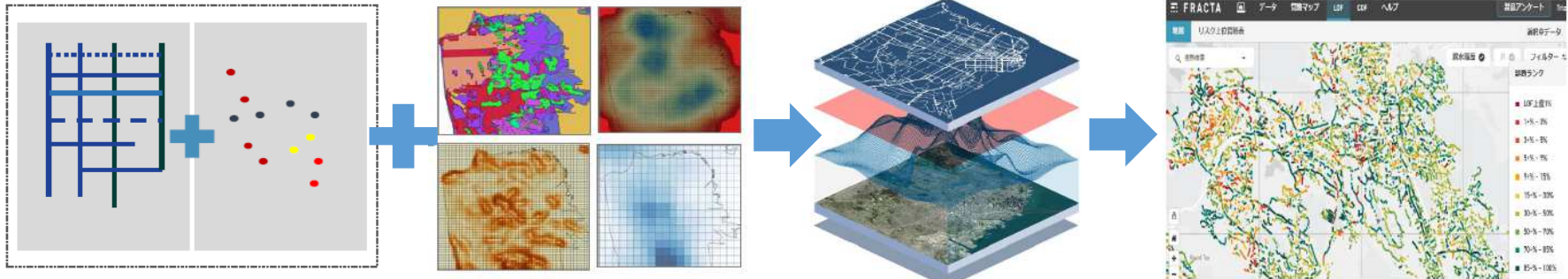
- 管路の老朽化による漏水を見つけて修繕する**対症療法のみでは有収率向上に限界**
- 10年後(R15)には法定耐用年数(40年)超過管が全体の30%を超える見込み
- 漏水対策は継続しつつ、漏れる前に対応する**予防保全へのステップアップが必要**

↓
管路の健康状態が見える化し、効率的・効果的な維持管理につなげる

AIを活用した管路劣化予測（R6～）

○目的 管路情報・布設環境条件等から管路の劣化予測を行い将来的な更新の優先度を示す

○技術概要



管路の情報（口径/管種/年度等）
漏水履歴の情報

気象、土壌など
環境ビッグデータの活用

AI／機械学習による計算

管路の破損確率を
ヒートマップで可視化

○効果

- 漏水調査範囲選定に活用し、効率的・効果的な調査実施による有収率の向上
- 管路更新の優先度評価の総合的な判断指標とし、更新計画、経営戦略策定に活用

○予算額

6,600千円

課題

- 職員の経験不足により専門技術の継承が必要であり、人材育成が急務
- ベテラン職員の退職のため、施設の適切な維持管理が困難
- 災害時対応力の強化

目的

- 専門技術の習得・継承による企業局職員及び県内水道事業全体の技術レベル向上
- 事業体間、民間事業者との連携強化による災害時の対応力強化

設備設置計画と研修イメージ

○上田市諏訪形浄水場内に簡易研修設備を整備

全体計画

○研修項目

漏水調査、漏水修繕、弁栓類操作、配管接合
メーター交換、計測機器設置、排泥作業

○整備計画

R5 漏水補修、弁栓操作エリア
R6 漏水調査、メーター交換エリア ほか

活用計画

- 企業局職員向け技術研修
- 県内各事業体(主に市町村)向け技術研修
- 水道工事指定業者向けの講習会
- 広報施設(施設見学・施工体験等)として活用

○予算額 10,000千円
(R5予算 5,000千円)

